
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより 第93号（通巻第160号）

2010年12月20日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

■ 琉球大学教育学部附属教育実践総合センター訪問のご報告

本学教育ボランティア活動，特に学生運営委員会の取組の充実を図るため，11月26日（金），琉球大学教育学部附属教育実践総合センターを，本学教育学部附属教育実践総合センターの嶋田一彦教授と早川健准教授が訪問しました。琉球大学は，平成8年度より学生ボランティア活動に取り組んでおり，学生によって組織された「教育実践ボランティア実行委員会」が主体となって運営していることに特色があります。

今回の訪問では，担当の平田幹夫教授と，前原奈穂実行委員長（4年生）をはじめとする5名の委員会執行部から，琉球大学における教育実践ボランティアの概要と実行委員会の具体的活動内容についてお話を伺いました。

前原委員長を中心とした執行部には，派遣依頼先への訪問による協力依頼と学校からの申込み方法，実行委員の結集会，学生振り分け作業から名簿作成までの方法，説明会・報告会（中間・最終）の運営，「日々の記録」の作成と報告書への活用，「実践ボランティア連絡帳」の活用など，実行委員会の取組について大変具体的に説明をしていただきました。資料準備，説明の仕方，記録の取り方などから，学生たちは，この訪問自体を学習の場としてとらえている様子でした。

平田教授の，この活動を通して自ら考えて行動する主体的な学生を育てたいというお考えと，それに応えて意欲的に活動する学生たちによって，琉球大学の教育実践ボランティアは充実した活動になっているのだという思いを強くしました。

訪問を通して伺った内容は，今年度，初めて組織した本学の教育ボランティア学生運営委員会の活動に大いに参考になるものでした。本学の学生運営委員会の活動に活かし，学生の学びを一層深めていきたいと考えています。また，今後，双方の学生の交流が実現できたならば素晴らしいと思っています。



■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/shien-report/report.cgi> にご記入いただく形で送信してください。ご協力よろしくお願いたします。

■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、「日付・方法・相談対象・学年・性別・相談者・相談内容」をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけください。

報告用紙は、教育人間科学部総務グループ入口をに入って左手にあるレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵はセンター事務室にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/n1/>で見ることができます。